

国立国際医療研究センター AMR 臨床リファレンスセンターでは、「医療データベースを用いた抗菌薬適正使用に関する研究」を実施しております。本研究の概要は以下の通りです。

【研究課題名】

医療データベースを用いた抗菌薬適正使用に関する研究

【研究機関・研究代表者】

国立国際医療研究センター AMR 臨床リファレンスセンター
薬剤疫学室長 都築慎也

【研究期間】

倫理委員会承認後から 2028年3月31日

【研究対象期間】

2016年1月～2027年12月31日

【研究の目的】

抗菌薬使用量の増大は耐性菌の発現率を高めるとの指摘がなされています。本研究では、抗菌薬使用に関する客観的データを可視化し、抗菌薬適正使用の推進に寄与することを目的としております。

【研究の方法】

国立病院機構診療情報集積基盤の医療データベースに格納されているデータのうち、抗菌薬の処方または感染症の傷病名があるデータを対象とし、疾病ごとの抗菌薬の使用割合/種類を集計し、抗菌薬ごとの有効性や副作用の発生頻度を分析します。

【個人情報】

調査結果は、医学の発展のために学会や論文で発表させていただくことがありますが、患者さまに関わる個人情報は全て匿名化されて解析されますので、個人が特定されることは一切ありません。

【情報開示】

開示希望やお問い合わせ頂いた対象患者さまには情報開示しますので、下記までご連絡ください。

【利益相反】

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しています。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反状態はありません。

【本研究に関するお問い合わせ】

国立国際医療研究センター AMR 臨床リファレンスセンター 松永展明

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

電話：03-3202-7181（代）